

もっと安心農産物 非結球レタス(作型:-)栽培暦(令和5年度)

JAちばみどり 海上野菜組合

1. 土づくり 完熟堆肥を施用する

2. 施肥 ①・②のいずれかの施肥を実施する **化学肥料窒素成分使用量 12.5 kg/10a以下**

	肥料名	施肥量
①	ちばみどり有機888(8-8-8 有機態窒素 1.2)	180kg/10a以下
	苦土石灰	60kg/10a
②	有機アグレット088(10-8-8 有機態窒素 5)	240kg/10a以下
	苦土石灰	60kg/10a
	苦土重焼燐	40kg/10a

3. 防除 **化学合成農薬 7成分回数まで**

(スピノエース顆粒水和剤・センターリ顆粒水和剤・エスマルクDF・Zボルドーは化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等) ★ 変更可能農薬	
9月上旬	は種	ハスモンヨトウ・オオタバコガ — アブラムシ — — すそ枯病・べと病 — — 菌核病 —	①D-D (作付10~15日前)	15~20% /10a	ネコフセンチュウ	害虫防除の為、育苗床は寒冷紗で被覆をする ※スピノエース顆粒水和剤で灌注処理をする場合、セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約30)当り500mlで行うこと	
中旬						アブラムシやその他の病害虫などを防除する為、圃場周辺の雑草を除去する	
下旬				②モンカットフロアブル40 (収穫30日前)	1000~2000倍	すそ枯病	苗床での立枯病が本圃でのすそ枯病の発生源となるので多灌水に注意する
10月上旬	定植			又はランマンフロアブル (収穫3日前)	2000倍	べと病	
中旬				③フォース粒剤(定植時) 又は ランダイヤ粒剤(植付時)	9kg/10a 6kg/10a	ネキリムシ類	*ランダイヤ粒剤は *2回カウントとする 通路の雑草は、中耕除草する
下旬				④キノドーフロアブル (収穫30日前)	800~1000倍	斑点細菌病	ハスモンヨトウは若齢期のうちに防除を実施する
				⑤アフーム乳剤 (収穫3日前)	1000~2000倍	ハスモンヨトウ オオタバコガ	
				⑥フェックス顆粒水和剤 (収穫前日)	2000~4000倍		
11月上旬				⑦プレバノンフロアブル5 (収穫前日)	2000倍	菌核病	すそ枯病の初期防除に努める。
				⑧トルネードエースDF (収穫7日前)	2000倍		
中旬	トンネル被覆			⑨カスミンボルドー (収穫21日前)	1000倍	腐敗病	トンネル被覆前に防除を実施する
				⑩ファンタジスタ顆粒水和剤 (収穫14日前)	2000~3000倍	菌核病	
			⑪アミスター20フロアブル (収穫7日前)	2000倍	菌核病		
			⑪モスピラン顆粒水溶剤 (収穫7日前)	4000倍	アブラムシ類 アザミウマ類		
			⑫コルト顆粒水和剤 (収穫7日前)	3000~4000倍	アブラムシ類		

			⑬ダントツ水溶剤 (収穫前日)	2000～4000倍	アブラムシ類		
下旬		<化学合成農薬に含めない薬剤>					
			スピノエース顆粒水和剤 (収穫7日前)	2500～5000倍	オオタバコガ		
			ゼンターリ顆粒水和剤 (発生初期但し、収穫前日まで)	1000～2000倍	ヨトウムシ		
			エスマルクDF (発生初期但し、収穫前日まで)	1000倍	ヨトウムシ		
			Zボルドー (-)	500～800倍	腐敗病		
		ウララ DF(収穫前日まで)	2000倍	アブラムシ			

☆みんなで守ろう生産基準